

一般社団法人レギュラトリーサイエンス学会のご案内

医薬品、医療機器等の品質・安全性・有効性を確保するためには、基礎科学や応用科学による試験研究の結果等に基づき、的確に評価、予測、判断し、社会に受け入れられるように管理調整することが必要です。医薬品、医療機器等の発展に伴い、これらの課題に迅速・的確に取り組むことはますます難しくなっており、その基盤となる科学（レギュラトリーサイエンス）の進歩及び普及を図ることが急務と考えられます。

このため、医療現場、大学・研究機関、産業界や規制当局の方々が対等の立場でそれぞれの研究成果や考えを公開討議するための場として、平成 22 年 8 月、一般社団法人レギュラトリーサイエンス学会を設立しました。

この学会においては、医薬品等の研究開発、品質・非臨床・臨床・市販後を通じた新しい試験や評価の方法、リスクベネフィット評価のあり方、ICH等の国際的な動向とその対応、医療現場における医薬品等のあり方や医療経済学的な評価等が議論されるものと期待しています。また、医薬品医療機器総合機構等の団体と学会との共催によるシンポジウムや研修会の開催も検討しています。

については、本学会の活動に、ご理解とご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

学会運営の基本方針

- 医薬品、医療機器、医薬部外品及び化粧品の研究開発から、承認審査、製造販売、市販後までのすべての段階を対象とするレギュラトリーサイエンスの進歩、普及を目的とすること。
- 薬学、医学、理学、農学、工学、獣医学、生物統計学等だけでなく、社会科学にも開かれたものであること。
- 産学官が対等の立場で参加するものであること。
- 運営に当たっては、公正、透明、中立を確保すること。

事業の範囲

- 学術集会の開催
- 学会誌及び関連図書・雑誌の発行
- 講演会、研修会等の開催
- 国内外の関係学術団体との連携など

その他

- 会員は正会員（年会費 8,000 円）、若手会員（35 歳未満、年会費 3,000 円）及び学生会員（若手会員のうち大学の学部・修士課程・博士課程に在籍する者（社会人学生を含む）、年会費 1,000 円）の 3 種類。

なお、法人会員や賛助会員のような会員は設けない。製薬企業等からの寄付・賛助金等は受けない。

理事長：橋田充（京都大学）

理事：新井洋由（医薬品医療機器総合機構）、石井明子（国立医薬品食品衛生研究所）、泉祐子（全国薬害被害者団体連絡協議会世話人）、梅津光生（早稲田大学）、岡田潔（大阪大学）、甲斐克則（早稲田大学）、柏谷祐司（製薬協／武田薬品）、川北晃司（明治薬科大学）、久芳明（日本医療機器産業連合会）、合田幸広（国立医薬品食品衛生研究所）、近藤昌夫（大阪大学）、富田泰輔（東京大学）、豊島聰（日本薬剤師研修センター）、中村健一（国立がん研究センター中央病院）、成川衛（北里大学）、柳澤学（製薬協／エーザイ）、山本晴子（医薬品医療機器総合機構）、渡邊伸一（帝京平成大学）、渡邊裕司（浜松医科大学）

監事：笠貫宏（一般社団法人Medical Excellence JAPAN）、山本圭一（日本OTC医薬品協会／第一三共ヘルスケア）